



ŌMIYA NEWS



No.3

2025年7月6日

JR東労組大宮地本

JR東労組大宮地本
第26回定期大会

大会宣言をみんなで読み合わせ、
全職場から共にたたかいを創り出そう!!

大会宣言(※)

本日JR東労組大宮地本は、さいたま市文化センターにおいて第26回定期大会を開催し、職場活動を基軸とした、1年間のたたかひの成果と課題を明確にし、新たな運動方針を満場一致で確認した。

春のたたかひでは、「2025JR総連春闘勝利に向けたたたかひ」「あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかひ」の2つの柱を掲げ、「被害者が加害者にされた! JR 東日本武蔵小金井駅暴行事件」のたたかひの提起と合わせ全職場で議論を行い、組合員・未加入者の声を本部へ届け、春闘総決起集会以降も結集の場を積み重ねてきた。そして、春闘破壊と言える早期回答と過去最大のベア格差を許さず、回答日以降も職場の怒りの声を結集させ、緊急再申し入れのたたかひを貫徹した。また、同時期に行われた過半数代表者選挙では4つの統括センターと2つの車両センターで勝利し、組織拡大も勝ち取ることができた。要求の前進は勝ち取れなかったが組織は確実に強化され、今後に向けた問題意識を共有し、たたかう構えを打ち固めた。

春闘以降のたたかひでは、繰り返されるハラスメント・不当労働行為、社友会を通じた社員差別に対し、討議資料などを活用し、団体交渉の経過や不当労働行為・懲罰的日勤教育・不当処分・ハラスメント等を明らかにした。そして全職場で問題意識を一致させ、異常な経営姿勢の是正を求めてたたかうことを意思統一した。不当労働行為について会社は一貫して組合員への聞き取りを行わず、嘘をついた管理者を処分せず不誠実な姿勢に終始してきたが、労使議論を踏まえ組合員への聞き取り調査がようやく行われた。頑なな会社姿勢を変えた根拠は、組合員が直接現場長に抗議し、職場集会以降も全職場でたたかひを創り出したからだ。一方、組合員への聞き取り調査で、不当労働行為の事実を改めて指摘したが、会社は管理者の主張のみを採用し、「賞罰審査委員会には報告しない」「再調査を行う考えはない」「聞き取りをした組合員に返すことはしない」と回答し、事実を隠蔽し、正当化して聞き直っている!

私たちは繰り返されるハラスメント・不当労働行為と不誠実な経営姿勢を絶対に許すわけにはいかない。団体交渉で解決できない場合は第三者機関を活用し、社会問題化していく。仲間の実践を我が物とし、健全なJR東日本グループ実現に向けて全組合員でたたかひを創り出そう!

5月7日、「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」が示された。本社・事業本部への組織再編と「究極の融合と連携」により、さらなる管理強化・労働強化が見込まれ、評価型の人事・賃金制度導入により過度な競争と格差拡大が職場に持ち込まれ、鉄道業の安全と専門性が脅かされかねない。「定期昇給を軸とした新たな格差と分断、不利益変更反対! 安全・健康・生活を守るため全組合員でたたかう!」のスローガンの下、会社の狙いを明らかにし、全職場から議論を巻き起こそう。

現在各所で事故・事象が続発し、「経営のトッププライオリティ」であるはずの安全が大きく揺らいでいる。安全はチームワークと経験労働により築かれ、守られるものである。今こそ命を最大の価値基軸とし、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を我が物とし、分断と格差拡大を許さず、安全第一の職場を実現させよう。

私たちは職場のたたかひにより、昨年の大会以降10名の組織拡大を実現した。会社施策発表後、将来への不安が広がる中、加入が相次いでいる。仲間の悩みや不安に寄り添い、東労組の存在意義を語り広めてきた成果である。今こそ仲間と真剣に向き合い、自らの言葉で組織強化・拡大の実践を推し進めよう。

石破政権はトランプ政権からの圧力を受け、防衛費増額など軍備拡大を推進している。この現実には戦前回帰であり、沖縄の住民が苦しむ、「戦争と隣り合わせの中、犠牲と負担を強いられる状況」が迫っている。今まさに世界大戦の危機である。戦争では鉄道が攻撃対象となり、労働者が犠牲になることは歴史の事実から明らかだ。今年は戦後80年の節目に当たり、私たちは改めて戦争政策に反対し、声を上げなければならない。美志志会や9条連の仲間と連帯し、平和で安心して暮らせる社会の実現に向け、参議院議員選挙で具体的に行動しよう。

大宮地本は「抵抗とヒューマニズム」の精神で、あらゆるハラスメント・不当労働行為を断固許さず、懲罰的日勤教育に抗し、たたかひ抜いた仲間の職場復帰を勝ち取るためにたたかう。そして会社施策に真正面から向き合い、安全や命を脅かす経営姿勢を打ち破り、さらなる組織強化・拡大を実現していく。1万人組織の実現に向け、仲間との議論や実践を通じ全職場からたたかひを創り出そう!

以上宣言する。

2025年7月5日
東日本旅客鉄道労働組合
大宮地方本部
第26回定期大会